

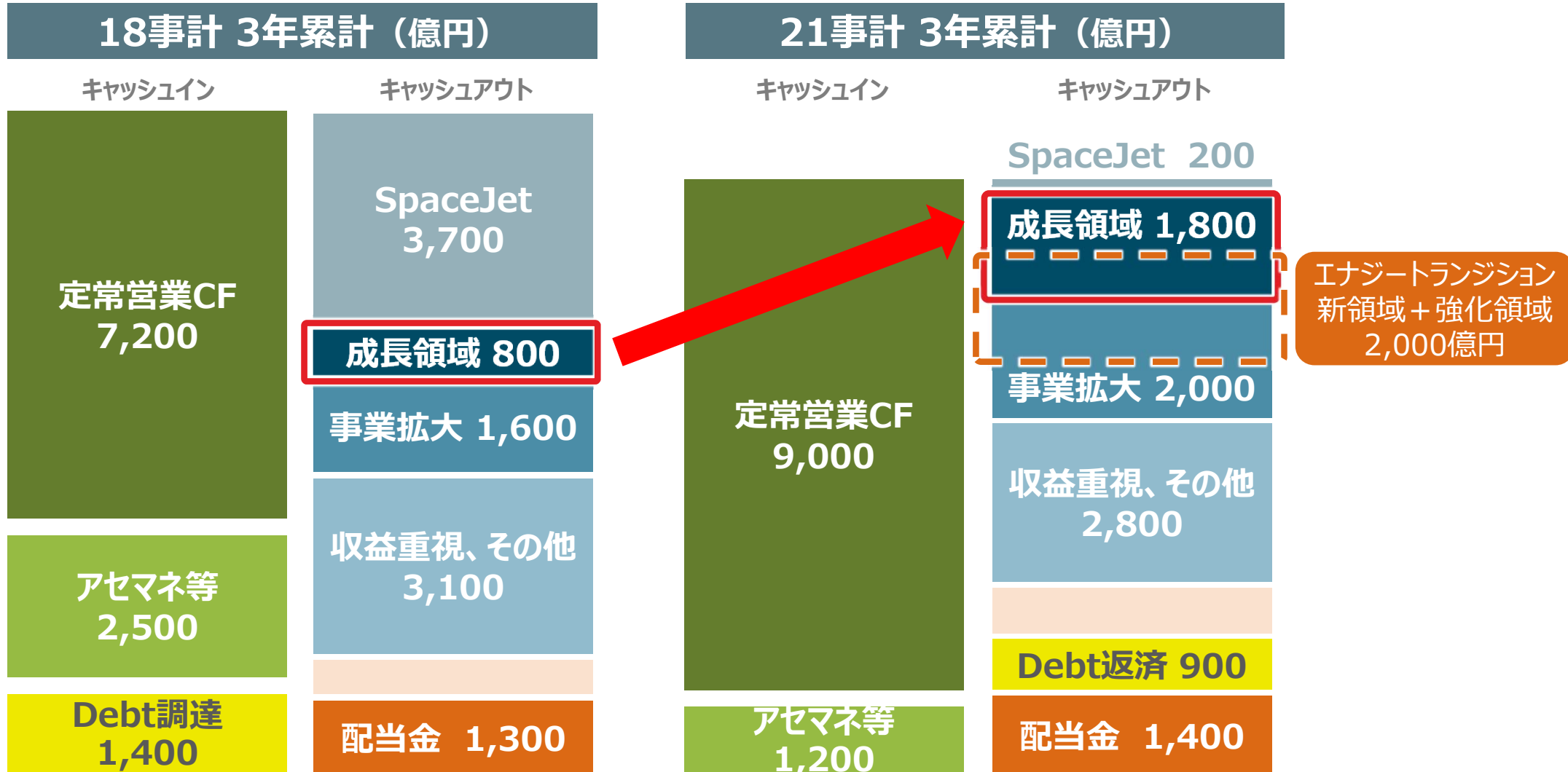
# エネルギートランジションを支える財務基盤

取締役執行役員

CFO

小澤 壽人

- エナジートランジションをはじめとした「成長領域」等への資金配分を大幅に積み増し

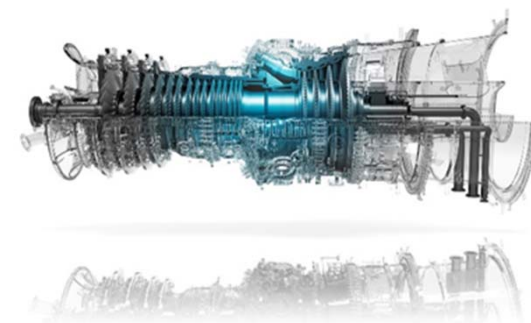


# グリーンボンド発行の狙い

- 当社は、エナジートランジション分野の幅広い事業機会と投資能力を合わせ持つ稀有な企業
- 本分野への投資家の皆様の旺盛な投資ニーズと当社の特色・ユニークさを結びつける初めての取り組みとしてグリーンボンドを発行

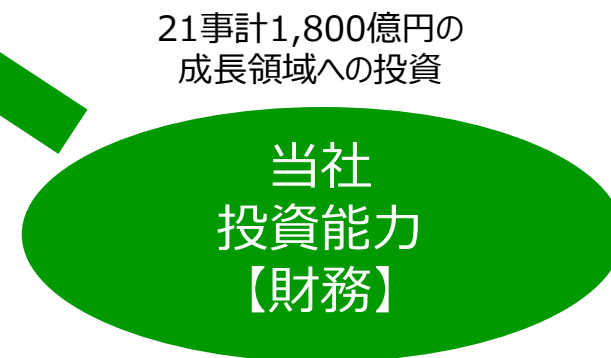
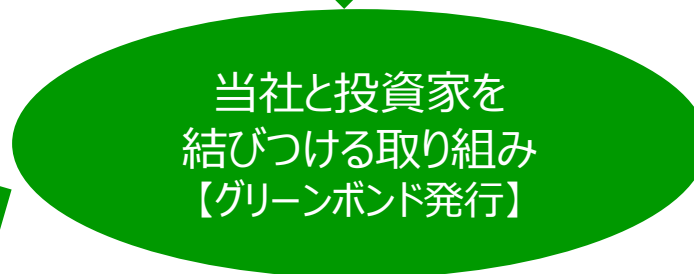


[風力発電設備及び事業]



[水素発電設備及び事業]

エナジートランジションを実現する  
当社ソリューション・製品群



21事計1,800億円の  
成長領域への投資

【資金使途】  
風力・水素・地熱  
発電設備及び事業

【発行額・年限】  
250億円、5年

- グリーンファイナンス・トランジションファイナンスは単なる資金調達的手段ではなく、社会・投資家の皆様との貴重な対話の機会
- これからも対話を継続し、エナジートランジション事業の拡大と、それに相応しい資金調達を検討



HOME - ニュース - 三菱重工、初のグリーンボンド発行を決定 脱炭素化社会の実現に向けた環境課題を解決しSDGs達成に貢献

PRESS INFORMATION

三菱重工、初のグリーンボンド発行を決定  
脱炭素化社会の実現に向けた環境課題を解決しSDGs達成に貢献

2020-10-30



- ◆ 再生可能エネルギー/クリーンエネルギー事業に関連する資金調達のため国内公募形式で発行
- ◆ SDGsの目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」達成に貢献へ

三菱重工は、国内公募形式のグリーンボンド（連1）を発行（以下、本発行）する予定であり、本日10月30日に、本発行に向けた社債の訂正発行登録書を関東財務局長に提出しました。本件は、当社にとって初めてのグリーンボンド発行となるものです。

今回の発行の意義について、取締役執行役員CFOの小澤直人は次のように述べています。「当社は創業以来、様々な製品・技術を通じて社会の課題解決に貢献してきました。本グリーンボンドの資金使途は、脱炭素社会に向けた環境課題に対応するもので、バランスの取れたエネルギーインフラの提供を通じて社会に貢献できると考えています。本発行は、当社がマテリアリティとして掲げる「脱炭素社会に向けたエネルギー課題の解決」の実現に向け取り組んでいることを示す1つの証となるものです」。

エナジートランジション拡大と  
相応しい資金調達

社会・投資家との  
継続的対話



グリーンボンド発行  
(初回)



現在

21事計期間

- 脱炭素社会の実現のためには、  
経済性の成り立つエナジートランジションが必須
- 当社は、自社の技術力と実績に加えて社外のかも取り入れて、  
現実的なソリューションを継続して提供し、成長を実現
- 足許の収益力回復・強化のため、販売費及び一般管理費（SG&A）の  
低減を含む対策に着手済
- 短期、中長期の収益性、財務健全性のバランスを取りつつ、  
エナジートランジションを強かに推進し、企業価値の向上とともに、  
2050年カーボンニュートラルの実現に貢献

**MOVE THE WORLD FORWARD**

**mitsubishi**  
**HEAVY**  
**INDUSTRIES**  
**GROUP**